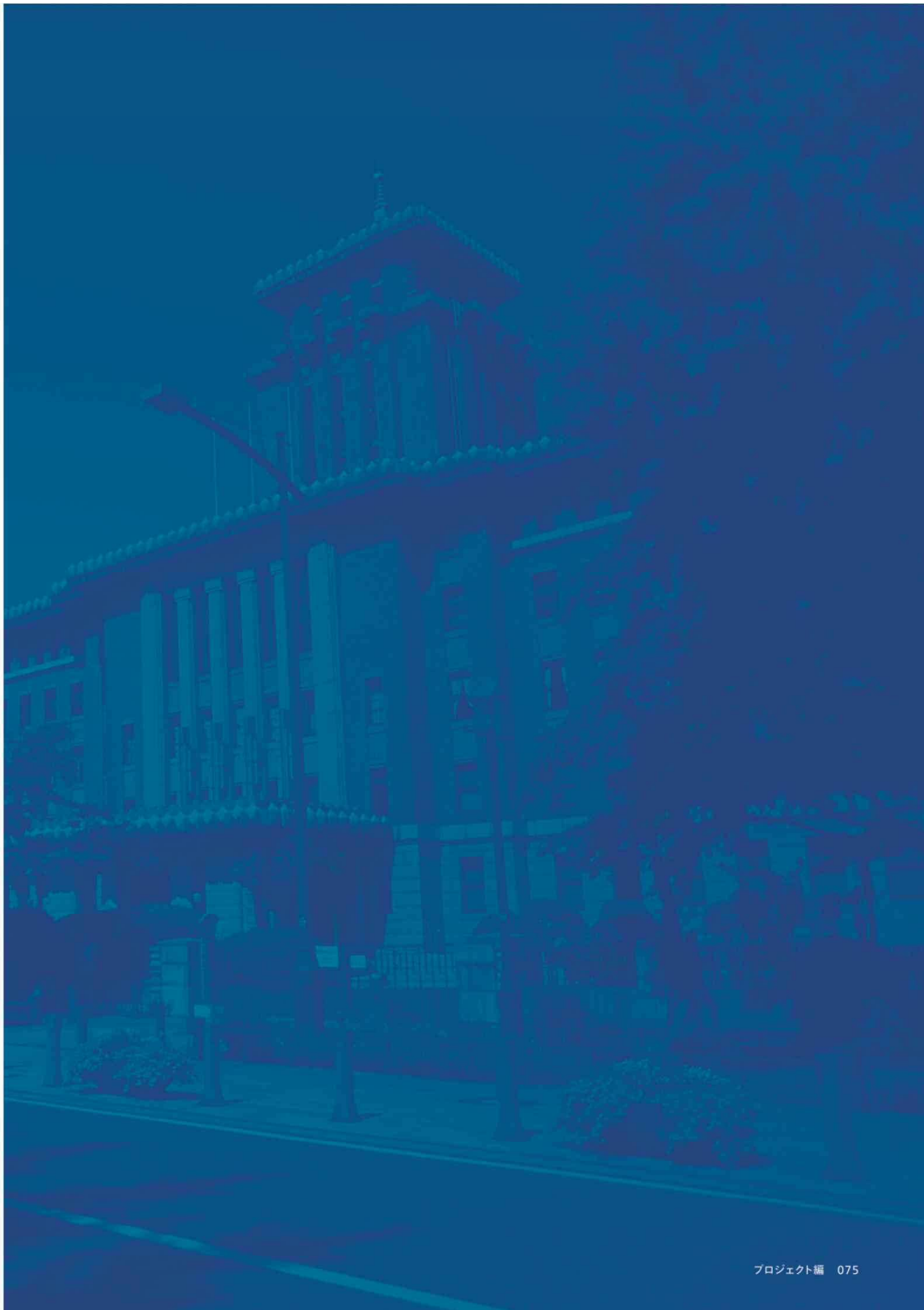
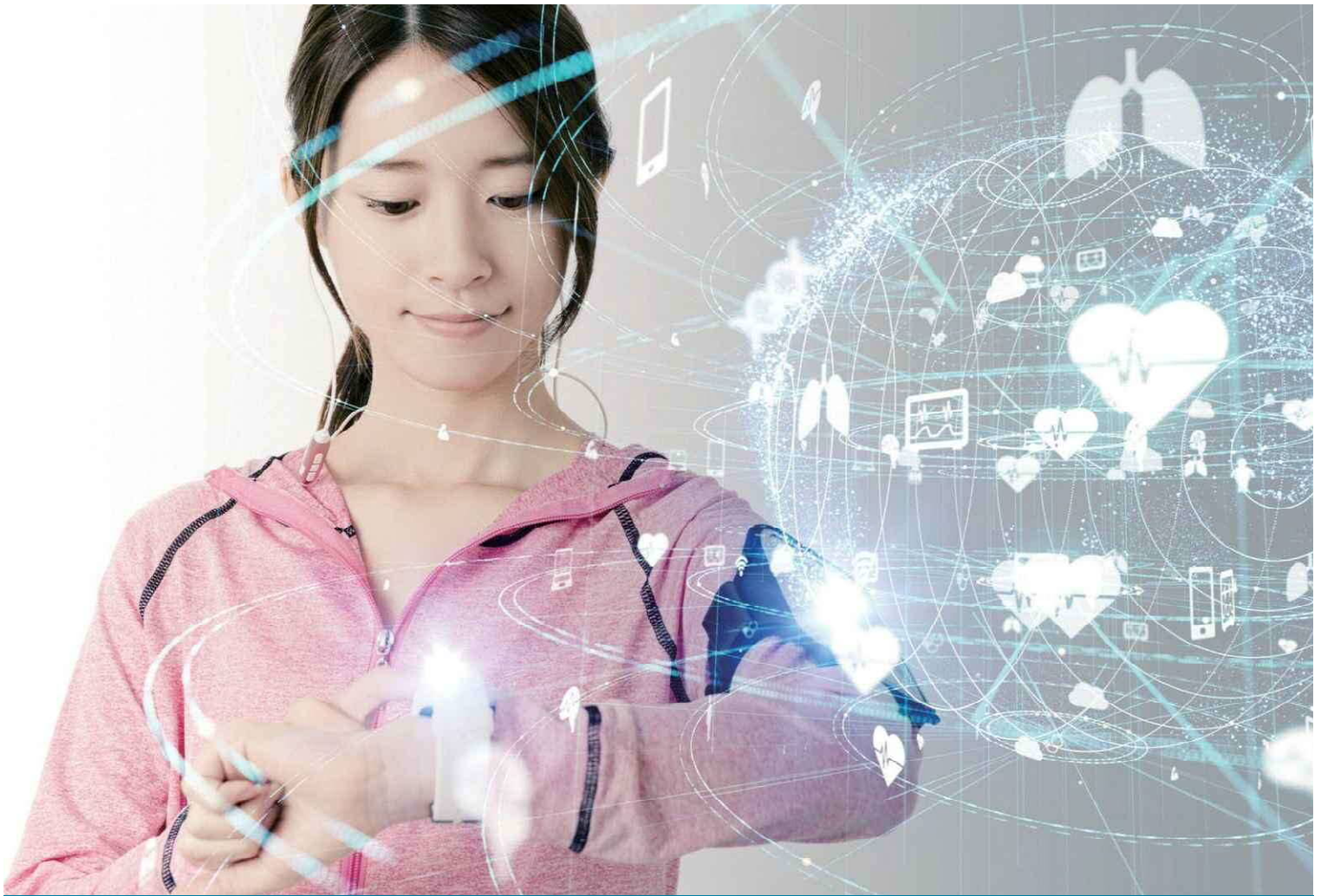


神奈川の戦略

- ① ヘルスケア・ニューフロンティアの推進
- ② 人生100歳時代
- ③ ロボットと共生する社会の実現
- ④ とともに生きる社会かながわの実現
- ⑤ 地方創生の推進
- ⑥ マグネット・カルチャーの推進
- ⑦ グローバル戦略の推進
- ⑧ 未来社会創造

超高齢社会や人口減少社会への対応など非常に大きな課題を乗り越えるために、重点施策を分野横断的にとりまとめたプロジェクトをさらに複合的に実施する取組みを「神奈川の戦略」としてまとめました。それぞれのねらいと取組内容とともに、構成するプロジェクトを整理して示しました。





神奈川の戦略 ①

ヘルスケア・ニューフロンティアの推進

神奈川では、全国屈指のスピードで高齢化が進んでいます。少数の高齢者を多数の現役世代で支えることを前提とした現行の医療や介護などの社会システムを維持することは困難になりつつあります。

そこで、超高齢社会を乗り越えていくため、県では「最先端医療と最新技術の追求」と「未病の改善」という2つのアプローチを融合させ、SDGs先進県として、持続可能な新しい社会システムを創造していく「ヘルスケア・ニューフロンティア」を推進することにしました。そして、未病(ME-BYO)コンセプトの普及による県民の行動変容の促進や未病産業の創出、再生・細胞医療の産業化拠点づくりなどに取り組んできました。

この取組みを市町村や企業など多様な主体と連携しながら一層発展させていくことで、すべての世代が元気で自立したライフスタイルを実践し、生きがいと笑いあふれる健康長寿社会の実現をめざします。

具体的な取組み

未病の改善

- エビデンスに基づいた未病指標を県民が活用し、主体的な未病改善に向けた取組みを行うため、健康や未病に関する知識の普及・啓発を図り、ライフスタイルの見直し、笑いと関連性の実証を踏まえた社会参加の促進に取り組めます。
- 県民の行動変容に向けた選択肢を増やすため、様々な分野の企業が参加する未病産業研究会を軸に、未病改善のための商品やサービスの普及・拡大を図ります。
- 世界保健機関(WHO)と連携し、未病コンセプトの発信、エイジフレンドリーシティの推進、ヘルスケア分野において国際社会で活躍する人材の育成などに取り組めます。

最先端医療・最新技術の追求

- 最先端医療や最新技術をいち早く県民に届けるため、国家戦略特区をはじめとした特区制度なども最大限に活用しながら、「ライフイノベーションセンター(殿町地区)」や、村岡新駅(仮称)の実現に向けた取組みが進む村岡・深沢地区などの最先端のイノベーション拠点間で連携し、研究開発の支援と最新技術の市場化を促進するとともに、県内における関連産業の集積促進を図ります。
- 海外とのネットワークを活用し、県内企業の国際展開を支援するとともに、海外の先進的な取組みの県内への早期導入を促進します。

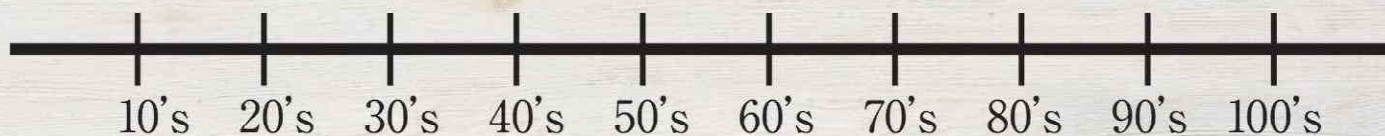
次世代社会に向けた基盤づくり

- 県民が普段の生活の中で主体的な未病改善に取り組むことができるよう、神奈川ME-BYOリビングラボなどを活用し、個人の選択と行動を行政や企業などが支えるしくみづくりを進めます。
- 企業が経営の一環として、CHOを設置し、従業員やその家族の健康づくりに取り組むCHO構想、いわゆる健康経営の普及をさらに進めます。
- マイME-BYOカルテを普及させるとともに、蓄積されたデータなどを、個人が日々の生活の中で未病改善に活用できるしくみの構築に取り組めます。
- 県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科(ヘルスイノベーションスクール)において、県民の健康長寿に寄与するため、ヘルスケア分野における社会システムの変革を起こす人材の育成に取り組めます。

構成プロジェクト

プロジェクト名	構成施策名
プロジェクト1 未病	A ライフステージに応じた未病対策 B 未病改善を支える社会環境づくり C 健康情報の活用による効果的な施策の推進
プロジェクト2 医療	A 最先端医療の推進・最新技術の追求
プロジェクト3 高齢者	B 認知症の人にやさしい地域づくり C 健康・生きがいづくり
プロジェクト6 産業振興	A 成長産業の創出・育成 B 企業誘致などによる産業集積 C 県内企業の活性化
プロジェクト16 スポーツ	A 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進 B スポーツ活動を拡げる環境づくりの推進
プロジェクト18 地域活性化	A 人を呼び込む地域づくり

Life Planning



神奈川の戦略②

人生100歳時代

人生100歳時代、いわゆる超長寿社会においては、県民一人ひとりが柔軟な働き方や学び直しなどの多様な人生を送ることができるような社会づくりを進めていく必要があります。

そして、明るい未来を次世代に引き継いでいくために、多様な世代・立場の人々が関わり合いながら活動することができる持続可能な社会への転換が必要です。

そのため、県では、いくつになっても生き生きとらせる未病改善の取組みを推進するとともに、人生の充実につながるライフスタイルの多様化を促進しています。そして、NPOや企業、大学、市町村などと連携し、すべての世代・立場の人々が、自分らしく活躍できる社会づくりを推進しています。今後も、SDGsの視点を踏まえながら、これらの取組みをより一層推進していくことで、県民一人ひとりが自らの人生の設計図を思い描き、生涯にわたり輝き続ける、笑いあふれる人生100歳時代の実現をめざします。

具体的な取組み

生き生きとくらす健康づくりの推進

- すべての世代が未病を自分のこととして考え行動していくよう、企業や団体、市町村などと連携しながらライフステージに応じた未病対策を推進します。
- 子どもの頃からスポーツに親しむ意欲や態度を育成することや、高齢者にスポーツ活動などの成果を発表する機会や交流の場を提供することなどを通して、誰もが生涯にわたりスポーツに親しめるよう取り組みます。
- 県営住宅の「健康団地」としての再生、多世代居住のまちづくり、未病改善の場としての商店街魅力アップなど、未病改善につながるコミュニティの再生・活性化に取り組みます。

人生の充実につながるライフスタイルの多様化の促進

- 本人が希望する生き方を実現できるよう教育支援の充実を図るとともに、県民一人ひとりの学びの意欲に応え、生涯にわたって能動的に学び続けることや、いくつになっても学び直すことができるよう、生涯学習などの環境整備を行います。
- ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、職場環境の整備促進に取り組みます。

地域・社会で自分らしく活動できる環境の創出

- コミュニティの最前線で課題解決に取り組む市町村や、NPO、企業、団体などと連携し、コミュニティの再生・活性化に向けて、課題や優良事例などの情報共有の場づくりなどに取り組むとともに、地域に住む人が互いに協力し、支え合って生活する地域共生社会のしくみづくりの推進、学びの場から活動の場につなぐしくみの創出などに取り組みます。
- NPOの地域活動を支援するため、活動基盤の強化や人材の育成などに取り組みます。
- 多様な世代やニーズに対応した起業・就業支援に取り組みます。

構成プロジェクト

プロジェクト名	構成施策名
プロジェクト1 未病	<ul style="list-style-type: none">▲ ライフステージに応じた未病対策● 未病改善を支える社会環境づくり● 健康情報の活用による効果的な施策の推進
プロジェクト3 高齢者	<ul style="list-style-type: none">▲ 地域包括ケアシステムの推進● 健康・生きがいづくり
プロジェクト6 産業振興	<ul style="list-style-type: none">▲ 成長産業の創出・育成
プロジェクト12 男女共同参画	<ul style="list-style-type: none">▲ あらゆる分野における男女共同参画● 職業生活の充実とワーク・ライフ・バランスの実現
プロジェクト14 学び・教育	<ul style="list-style-type: none">▲ 生涯にわたる学びの推進
プロジェクト16 スポーツ	<ul style="list-style-type: none">▲ 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進
プロジェクト17 雇用	<ul style="list-style-type: none">▲ 就業支援の充実● 産業を支える人材育成
プロジェクト20 協働連携	<ul style="list-style-type: none">▲ 多様な主体による協働連携の推進● NPOの自立的活動に向けた支援



神奈川の戦略③

ロボットと共生する社会の実現

超高齢社会や人口減少社会が到来している中、あらゆる分野での人手不足対策や、増加する自然災害への対応、多くの人が集まる国際的な大会での安全の確保などの課題解決に向け、ロボットやその技術が果たす役割がますます大きくなってきています。

また、AIやIoTなどの発展に伴い、多様な分野でロボットが活躍する可能性が高まり、ロボット産業は成長産業としても期待されています。

県では、これまで「さがみロボット産業特区」を中心に、ドローンや自動運転など様々な生活支援ロボットの実用化・普及を通じた県民生活の安全・安心の確保及び地域社会の活性化に取り組んできました。今後、この取組みをより一層推進し、多様な分野において、県民が身近な場所でロボットの活躍を実感できる機会や、中小企業がロボット関連産業にかかわる機会を提供するなど、ロボットの有用性やロボット関連産業への参入メリットの「見える化」を推進することで、ロボットが社会に溶け込み、いのちや生活を支えるパートナーとして活躍する「ロボットと共生する社会」の実現をめざします。

具体的な取組み

様々な分野におけるロボットの活用

- 最先端ヘルスケアロボットやリハビリテーションロボットの開発支援、普及などの促進を図ります。
- 地震や火山活動などの災害や各種治安対策において、ロボットの導入を推進します。
- インフラ・建設、観光、農林水産（鳥獣対策を含む）など様々な分野におけるロボットの実用化、普及の促進を図ります。

ロボットの実用化支援

- 企業や大学などが持つ技術・資源を活用した共同開発のコーディネートを行うとともに、早期の商品化や高い発展性・経済的効果が期待できる案件への重点的な支援を行います。
- 実証実験会場やモニターの紹介、実際の利用状況に近い環境を模したプレ実証施設の運営、規制緩和の実現など、ロボットの実用化においてボトルネックとなる実証実験の支援に取り組みます。
- 中小企業などのロボット関連産業への参入促進を図るため、マッチングの支援や企業間交流の促進を図ります。
- 企業が立地しやすい環境づくりや優遇措置の実施などにより、ロボット関連産業の集積を促進します。

ロボットの普及・定着

- ロボットを実際に体験できる機会の創出や、現場におけるロボットの導入促進など、ロボットの普及・定着を促進します。
- ロボットが活用されている様子を身近な場所で実感できるモデル空間（ショーケース）の整備を推進します。
- ドローンや自動運転の実証実験などを実施し、県民の理解を深め、生活への浸透を図ります。

構成プロジェクト

プロジェクト名	構成施策名
プロジェクト1 未病	②未病改善を支える社会環境づくり ③健康情報の活用による効果的な施策の推進
プロジェクト2 医療	①最先端医療の推進・最新技術の追求
プロジェクト3 高齢者	①地域包括ケアシステムの推進
プロジェクト4 障がい児・者	①障がい児・者の生活を支えるサービスの充実
プロジェクト6 産業振興	①成長産業の創出・育成 ②企業誘致などによる産業集積
プロジェクト8 農林水産	①持続可能な経営基盤の確立
プロジェクト9 減災	②災害対応力の強化
プロジェクト10 治安	①県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙
プロジェクト21 自然	①生物多様性の保全
プロジェクト23 都市基盤	①交流と連携を支える交通ネットワークの充実 ②活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進



神奈川の戦略④

ともしに生きる社会かながわの実現

2016年7月に県立の津久井やまゆり園で発生した痛ましい事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、社会に大きな衝撃を与えました。また、ヘイトスピーチなどの、自らと異質なものに対する不寛容や差別、偏見が、私たちの社会を脅かしています。一方では、少子高齢化や人口減少、家族形態の変化などに伴い、地域社会の脆弱化が進み、高齢者や若年層の孤立化が社会的課題となっています。

そこで県では、「ともしに生きる社会かながわ憲章」の理念のさらなる普及や、ヘイトスピーチ対策、性的マイノリティ(LGBTなど)に関する正しい知識の普及を推進するとともに、高齢者、障がい者、女性、外国籍県民など、誰もが自分らしく活躍し、笑いあふれる地域社会をつくっていきます。さらに、誰もがコミュニティの一員として互いに理解し合い、支え合い、受け入れ合う持続可能な地域共生社会を形成することにより、SDGsがめざす「誰一人取り残さない」という理念にも通じる「ともしに生きる社会かながわ」を実現していきます。



具体的な取組み

誰もが互いに尊重し合い、差別や排除のない社会づくり

- 「ともに生きる社会かながわ憲章」のさらなる普及啓発に取り組むとともに、障がい者がスポーツ、文化芸術活動などを自ら楽しむための取組みを推進します。
- 性的マイノリティ(LGBTなど)に関する正しい知識の普及や外国籍県民等に対するヘイトスピーチの解消を図るなど、多様性を認め合い、互いの人権を尊重し合う社会づくりをめざします。
- いのちの大切さや互いを思いやる心を育む「いのちの授業」や、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育の推進に取り組みます。

誰もが自分らしく活躍できる社会の実現

- 高齢者や障がい者が安心して移動し、社会参加できるバリアフリーのまちづくりを進めます。
- 障がい者の就労や社会参加を促進するため、障害者差別解消法に沿った合理的配慮の普及を図ります。
- 政治や経済の方針決定過程への女性の参画をさらに進めるとともに、性別による役割分担意識にとらわれず誰もが活躍できるような環境づくりを推進します。

誰もが互いに支え合いながら共生する地域社会づくり

- コミュニティの最前線で課題解決に取り組む市町村や、NPO、企業、団体などと連携し、コミュニティの再生・活性化を通じて、地域に住む人が互いに協力し、支え合って生活する地域共生社会のしくみづくりに取り組みます。
- 一人暮らしの高齢者や困難を抱える子どもなど、支援を必要とする人たちを地域で支える取組みを支援します。
- 災害時に備え、自助・共助の取組みを促進するとともに、情報弱者になりやすい障がい者や高齢者、外国籍県民、観光客などに対する情報提供などの支援体制づくりを進めます。

構成プロジェクト

プロジェクト名	構成施策名
プロジェクト1 未病	●未病改善を支える社会環境づくり
プロジェクト3 高齢者	●地域包括ケアシステムの推進 ●認知症の人にやさしい地域づくり ●健康・生きがいづくり
プロジェクト4 障がい児・者	●障がい児・者の生活を支えるサービスの充実 ●障がい児・者をとりまく社会的障壁の排除 ●障がい及び障がい児・者に対する理解促進
プロジェクト7 観光	●受入環境の整備
プロジェクト9 減災	●自助・共助の取組みの促進
プロジェクト12 男女共同参画	●あらゆる分野における男女共同参画 ●職業生活の充実とワーク・ライフ・バランスの実現 ●暴力や差別のない健やかで安心な暮らし
プロジェクト13 子ども・青少年	●支援を必要とする子どもを守る体制づくり
プロジェクト14 学び・教育	●生涯にわたる学びの推進
プロジェクト15 文化芸術	●県民の文化芸術活動の充実
プロジェクト16 スポーツ	●スポーツ活動を拓げる環境づくりの推進
プロジェクト17 雇用	●就業支援の充実 ●外国人材の育成・活躍支援
プロジェクト19 多文化共生	●多文化理解の推進 ●外国籍県民等も安心してくらす地域社会づくり
プロジェクト20 協働連携	●多様な主体による協働連携の推進
プロジェクト23 都市基盤	●活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進



神奈川の戦略⑤

地方創生の推進

国全体としては既に人口減少局面に至っている中、神奈川でも、三浦半島地域、県西地域では既に人口減少が始まっており、県全体でもまもなく減少に転じる見込みです。また、神奈川は全国でも屈指のスピードで高齢化が進んでいます。

将来にわたって地域の活力を維持するためには、その基礎となるコミュニティが重要であるとともに、持続可能なまちづくりや社会環境の整備などを一体的に推進していくことが求められます。これまで、県では、子ども・子育て支援や地域の魅力の向上などに取り組んできましたが、依然として高齢化や人口減少に伴う多くの課題を抱えています。

こうしたことから、さらなる創意工夫により、地域の資源や特性を生かしたまちづくり、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる少子化対策などに取り組むことで、超高齢社会や人口減少社会を力強く乗り越える地方創生を推進し、笑いあふれる神奈川をめざします。

具体的な取組み

安定した雇用の創出

- 国家戦略特区をはじめとした特区制度なども活用し、成長産業の創出・育成や関連産業の集積を図るとともに、中小企業や農林水産業などのさらなる成長を促進し、雇用の創出を図ります。
- 若年者、中高年齢者、女性、障がい者などの多様なニーズに対応した就業支援や人材の育成、外国人材の活用、安心して働ける労働環境づくりなどに取り組みます。

地域の魅力発信と移住・定住の促進

- 地域の魅力を生かした個性的なライフスタイルの発信、文化資源を活用した地域の活性化、観光プロモーションの強化に取り組みます。
- 三浦半島地域や県西地域など各地域の特性や資源を最大限に活用したプロジェクトの推進、関係人口の創出を通じた移住・定住の促進により、地域活性化を図ります。

若い世代の希望の実現

- 若い世代の経済的基盤の安定などに向けた支援や結婚から育児までの切れ目ない支援に取り組みます。
- ワーク・ライフ・バランスの促進や女性の活躍の推進などにより、誰もが多様な働き方ができる環境づくりを進めるとともに、しごとと子育てや介護を両立できるような働き方の改革に取り組みます。

活力と魅力あふれるまちづくり

- 未病コンセプトに基づく取組みなどにより、子どもから高齢者まで健康で安心してらせる健康長寿のまちづくりを進めます。
- 人口減少社会に対応した、いつまでもくらしやすいコンパクトなまちづくりのほか、個性豊かなまちづくり、安全で安心なまちづくりなど持続可能な魅力あふれるまちづくりを進めます。

構成プロジェクト

プロジェクト名	構成施策名
プロジェクト1 未病	A ライフステージに応じた未病対策 B 未病改善を支える社会環境づくり C 健康情報の活用による効果的な施策の推進
プロジェクト3 高齢者	C 健康・生きがいづくり
プロジェクト6 産業振興	A 成長産業の創出・育成 B 企業誘致などによる産業集積 C 県内企業の活性化
プロジェクト7 観光	A 観光資源の発掘・磨き上げ B 戦略的プロモーションの推進 C 受入環境の整備
プロジェクト8 農林水産	A 持続可能な経営基盤の確立
プロジェクト12 男女共同参画	B 職業生活の充実とワーク・ライフ・バランスの実現
プロジェクト13 子ども・青少年	A 結婚から育児までの切れ目ない支援
プロジェクト15 文化芸術	B 文化資源を活用した地域づくりの推進
プロジェクト17 雇用	A 就業支援の充実 B 産業を支える人材育成 C 外国人材の育成・活躍支援
プロジェクト18 地域活性化	A 人を呼び込む地域づくり B 関係人口の創出を通じた移住・定住の促進 C 地域産業の振興支援
プロジェクト23 都市基盤	B 活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進



神奈川の戦略⑥

マグネット・カルチャーの推進

県は、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャー、いわゆる「マグカル」の取組みを進めています。県内の豊富な文化資源や文化芸術の取組みを、「マグカル」として一元的に発信するとともに、神奈川発の魅力的なコンテンツの創出を下支えする人材育成にもつなげます。

東京2020大会を契機として、この「マグカル」の取組みを一層加速させ、その後もレガシーとして定着させていく必要があります。

また、神奈川を訪れる外国人観光客が増加する中、神奈川の文化・歴史などに関する観光資源の発掘・磨き上げを行い、魅力的な地域としての認知度を向上させていくとともに、地域の魅力の掘り起こしや再評価などを通じて文化活動やコミュニティの継続的な活性化につなげていくことが求められます。

今後、文化芸術だけでなく各関連分野が有機的な連携を図りながら、笑いがあふれる社会の実現を後押しし、「マグカル」の取組みを推進します。

具体的な取組み

マグカルを牽引する地域の魅力づくり

- 市町村と連携し、各地域の文化財や伝統的な芸能などを活用して、県内外に発信していきます。
- 年齢や障がいなどにかかわらず、子どもから大人までのあらゆる人の文化芸術の鑑賞や参加の機会を増やす取組みを進めます。
- 地域の魅力を生かした観光資源の発掘・磨き上げを行い、観光ツアーの企画・商品化を促進します。
- 文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す事業・活動を「神奈川文化プログラム」として認証し、文化活動や地域の継続的な活性化につなげていきます。
- 魅力的な夜の観光コンテンツを提供するなど、ナイトタイムエコノミーの取組みを充実させます。
- 友好交流先やベトナムなどとの多様な文化交流を推進していきます。
- 地域や地域の人と多様にかかわる関係人口に着目し、伝統行事などの地域の魅力を生かした多様な交流機会の創出に取り組みます。

マグカルを担う人づくり

- 県立青少年センターでは舞台芸術の裾野を広げる取組みを、神奈川芸術劇場では国際的に通用する真のプロフェッショナル人材の育成を進める取組みを行い、また、県立高校では舞台芸術に関する学科を新設するなど、文化芸術の発展に寄与する人材の育成を推進します。
- 伝統的な芸能を支える技術・技能の継承者の育成をめざし、ワークショップの充実支援などに取り組みます。

情報発信の強化

- 「マグカル・ドット・ネット」による情報発信や情報誌の発行など、情報発信の強化に取り組みます。
- 神奈川を訪れる外国人や外国籍県民に、ホームページや情報誌などでの多言語による情報提供を推進します。

構成プロジェクト

プロジェクト名	構成施策名
プロジェクト3 高齢者	④健康・生きがいづくり
プロジェクト4 障がい児・者	④障がい及び障がい児・者に対する理解促進
プロジェクト7 観光	④観光資源の発掘・磨き上げ
プロジェクト13 子ども・青少年	④青少年の健全育成と自立の支援
プロジェクト14 学び・教育	④生涯にわたる学びを支える環境づくり
プロジェクト15 文化芸術	④県民の文化芸術活動の充実 ④文化資源を活用した地域づくりの推進 ④文化芸術の振興を図るための環境整備
プロジェクト18 地域活性化	④関係人口の創出を通じた移住・定住の促進
プロジェクト19 多文化共生	④多文化理解の推進



神奈川の戦略 ⑦

グローバル戦略の推進

社会・経済のグローバル化が加速する中、神奈川でくらす外国籍県民等や海外進出している県内企業は増加しており、神奈川と世界との結びつきはますます強まっています。

県ではこれまでも、企業の海外展開支援や外国企業の誘致などに取り組んできましたが、今後、神奈川の人口減少が見込まれる中、産業の国際競争力の強化やインバウンド消費の向上、外国人材の育成・活躍支援などにより県内経済を活性化していくことが期待されます。

こうしたことから、様々な分野における神奈川の魅力や先進的な取組みを世界に強力に発信し、神奈川の強みを生かした積極的な国際展開を推進するとともに、神奈川と交流相手先の国・地域などの双方にとって、メリットのある交流を戦略的に進めます。

また、グローバル化に対応した人づくりや海外とのネットワークづくりを促進することで、神奈川の地域や経済の活性化につなげます。

さらに、入管法の改正により、今後一層外国籍県民等の増加が見込まれる中で、引き続き、多文化理解の推進などに取り組む、外国籍県民等もコミュニティの一員として活躍し、共に笑うことのできる多文化共生の地域社会づくりを進めます。

具体的な取組み

神奈川の強みを生かした国際展開

- 県内経済の活性化を図るため、県内中小企業の海外展開支援と外国企業の誘致を進めます。
- 米国や欧州、アジアなど、海外のライフサイエンス産業の先進地域と連携し、最先端医療や未病関連分野の産業の国際展開を促進します。
- ラグビーワールドカップ2019™や東京2020大会を契機に神奈川の魅力を世界に向けて効果的にPRし、大会開催後も見据えた外国人観光客の誘致促進に取り組みます。
- インバウンドを意識した文化プログラムを展開し、世界に向けて神奈川の文化の魅力を発信するとともに、大会開催後もレガシーとして地域の活性化につなげていきます。

国際展開を支える人づくり・ネットワークづくり

- 英語による実践的コミュニケーション能力を育む取組みや高校生の国際交流支援などのグローバル化に対応した教育を通じ、国際性豊かな人材を育成します。
- 世界保健機関(WHO)が推進する、高齢者に優しい地域づくりに向けた自治体の国際的なネットワーク「エイジフレンドリーシティ」や「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ** (UHC)」の実現に向け、高齢化への対応などに関する取組みを進めます。

※すべての人が適切な予防、治療、リハビリなどの保健医療サービスを、必要な時に支払い可能な費用で受けられる状態

- 県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科(ヘルスイノベーションスクール)において、国際社会で活躍でき、ヘルスケア分野における社会システムの革新を起こす人材の育成に取り組みます。
- 「かながわ国際ファンクラブ」を活用した留学生支援、友好交流先との国際交流の推進、海外からの研修員の受入れなどにより、人と人との交流を進め、人的ネットワークづくりを促進します。
- 経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者の学習支援などの取組みを進めます。

多文化共生社会の実現

- 国籍などの違いを越えて、多様性を理解し、一人ひとりが互いに認め合うことができる社会の実現をめざし、多文化理解を推進します。
- 外国籍県民等も、言葉の壁などにより不便や疎外感を感じることなく、安心してくらすことができる環境を整備します。

構成プロジェクト

プロジェクト名	構成施策名
プロジェクト1 未病	② 未病改善を支える社会環境づくり
プロジェクト2 医療	① 最先端医療の推進・最新技術の追求
プロジェクト6 産業振興	① 成長産業の創出・育成 ② 企業誘致などによる産業集積 ③ 県内企業の活性化
プロジェクト7 観光	② 戦略的プロモーションの推進
プロジェクト14 学び・教育	① 生涯にわたる学びの推進
プロジェクト15 文化芸術	② 文化資源を活用した地域づくりの推進
プロジェクト16 スポーツ	③ 大規模なスポーツイベントを盛り上げ、レガシーを創出・継承する取組み
プロジェクト17 雇用	③ 外国人材の育成・活躍支援
プロジェクト19 多文化共生	① 多文化理解の推進 ② 外国籍県民等も安心してくらす地域社会づくり ③ 外国人が活躍できる環境づくり



神奈川の戦略 ⑧

未来社会創造

産業の発展とともに、ヒト、モノ、カネ、そして情報のグローバル化や社会のあらゆる場面におけるデジタル化が急速に進む一方で、少子高齢化やコミュニティ機能の低下、経済格差、海洋汚染など様々な課題が生じています。こうした中、イノベーションで創出される新たな価値により、経済発展と社会的課題解決を両立する新たな社会「Society5.0」の実現が国において提唱されています。

県では、これまで県民の「いのち」を輝かせるため、医療だけでなく、環境、エネルギー、農業など様々な施策を総合的に展開する中で、特区制度などを活用した成長産業の創出などを推進してきました。今後、こうした施策と、AI、ロボットなど最先端のテクノロジーやビッグデータを融合した、あらゆる分野の課題を解決する「近未来の神奈川モデル」を描き、バックカスティングと発想の転換による新たな政策を展開し、パラダイムシフト^{*}につながる未来に向けた新たな価値の創出を促進していきます。そして、SDGs最先進自治体として全国を牽引していくとともに、急速な高齢化や人口減少など様々な問題を抱えた課題先進県である神奈川の地から、ドローン前提社会、スマートモビリティ社会などの実現を通して、笑いあふれる未来社会を創造していきます。

※ある時代・集団を支配する考え方が、非連続的・劇的に変化すること。社会の規範や価値観が変わること。

具体的な取組み

最先端の技術を活用した未来社会の加速実現

- ICTやビッグデータなどを活用し、個人の現在の未病の状態や将来の疾病リスクを数値で見える化する「未病指標」の構築・活用などに取り組みます。
- 最先端医療や最新技術をいち早く県民に届けるため、「ライフイノベーションセンター(殿町地区)」や、村岡新駅(仮称)の実現に向けた取組みが進む村岡・深沢地区などの最先端のイノベーション拠点間で連携し、研究開発の支援と最新技術の市場化を促進するとともに、県内における関連産業の集積促進を図ります。
- 消費者の利便性と事業者の生産性を向上させるキャッシュレスを推進するため、商店街などの導入希望のある事業者を支援するとともに、国内外から神奈川を訪れる観光客が、多様な決済手段を選択し快適な旅ができるよう、観光関連施設等におけるキャッシュレスを促進します。
- 様々な移動を一つのサービスとして捉える「MaaS」の概念などを踏まえ、市町村などと連携し、AIや自動運転をはじめとした新技術の活用などにより、スマートモビリティ社会の実現に向けた取組みを促進します。
- ドローンが身近な存在として、物流、農林水産(鳥獣対策を含む)、災害対応、インフラ点検など様々な分野で活躍する社会をめざし、実用化・普及を促進します。
- AIやIoTなど技術革新の進展を見据えた人材育成を図るため、県立総合職業技術校や県立産業技術短期大学校において、企業や求職者のニーズに応じた職業能力開発や在職者のスキルアップ支援などに取り組みます。また、県立高校等において、科学技術・理数教育の推進や、大学、企業などとの連携による「県立高校生学習活動コンソーシアム」を活用した教育活動の充実などに取り組みます。

SDGsで未来につながる社会の実現

- SDGsの推進に向け、NPOや企業、大学、行政などと連携したネットワークの構築や普及啓発などにより、各主体の取組みを後押しします。
- 世界的なESG投資拡大の潮流を踏まえ、社会的課題の解決に取り組む事業の社会的効果を「見える化」するしくみを構築し、SDGsの達成につながる社会的投資を促進します。
- 「かながわプラごみゼロ宣言」に基づくプラスチックごみ対策、マイクロプラスチックに関する調査研究をはじめとして、SDGsにつながる行動を促すための先行的な施策を展開します。

構成プロジェクト

プロジェクト名	構成施策名
プロジェクト1 未病	●健康情報の活用による効果的な施策の推進
プロジェクト2 医療	●最先端医療の推進・最新技術の追求
プロジェクト6 産業振興	●成長産業の創出・育成 ●企業誘致などによる産業集積
プロジェクト7 観光	●受入環境の整備
プロジェクト8 農林水産	●持続可能な経営基盤の確立
プロジェクト9 減災	●災害対応力の強化
プロジェクト14 学び・教育	●生涯にわたる学びの推進
プロジェクト17 雇用	●産業を支える人材育成
プロジェクト18 地域活性化	●地域産業の振興支援
プロジェクト20 協働連携	●多様な主体による協働連携の推進
プロジェクト21 自然	●生物多様性の保全
プロジェクト22 環境	●循環型社会づくり
プロジェクト23 都市基盤	●交流と連携を支える交通ネットワークの充実 ●活力と魅力あふれる強靱なまちづくりの推進